

定住自立圏構想の概要

1. 定住自立圏構想

全国的に人口減少・少子高齢化が進む中、地方圏において安心して暮らせる地域を形成し、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、三大都市圏の住民にも、それぞれのライフステージやライフスタイルに応じた居住の選択肢を提供し、地方圏への人の流れを創出することが求められています。

定住自立圏構想は、市町村の主体的取組として、「中心市」の都市機能と「近隣市町村」の農林水産業、自然環境、歴史、文化など、それぞれの魅力を活用して、相互に連携・協力することにより、地域住民の生活機能を圏域全体で確保し、地方圏への人口定住を促進する政策です。

【定住自立圏構想のイメージ】



2. 全国の定住自立圏構想の取組状況（平成27年1月1日現在）

中心市宣言済みの市	100 団体
定住自立圏形成協定の締結又は定住自立圏形成方針の策定により形成された定住自立圏の数	83 圏域
定住自立圏共生ビジョン策定済みの市	86 団体

出典：総務省 HP「定住自立圏構想」